

81.41

對スルハ必要アリナシ。茲ニ第六回聯合部土議木文部ニ列ス
ハ編々イテ奏曲上「第三」トシタリナシ。イニ關シテキ事
スル、テハ其點ニ議シ同聯合ニ列ス實ハ其點モヤサシ
兩部ニ列ス聯合ノ内容ハ「第二」トシタリナシ。イニ關
リテ其點六回聯合部土議聯合ニ關シタリ。其點木文部、
西引未測、
難斷ニ持ハテナリ。

又困難ナリイニ據テ、非直ノ限キテ内閣問題並由ハ一
回イテ
聯合部土議ハ其點モヤサシニ遊リ其ノ要點ニ據リ
ハ其

日本労働同盟内閣問題ノ件（第二辯）
聯合部土議 齋田 一 堀 規

大週支那社 齋 野 齋

大正十四年四月十日

財團法人協同會大阪支所

結自由ノ問題ヲ提出セントスルヤ大會理事者ハ其ノ發言權ヲ與ヘ
ザリシガ此ハ畢竟スルニ總同盟内部ニ於テ多少ナリトモ「第三イ
ンターナショナル」ノ分子ヲ含有スル處ヨリ右ノ如キ失敗ヲ演ジ
タルノ感ヲ深クシ同總會ニ於テ自己ノ主張ヲ貫徹セント欲セバ須
ク「第三インターナショナル」ト關係ヲ絶チタルガ如キ體裁ヲ裝
ヒ本年度大會ニ臨ムノ必要アリトナシ出發間際ニ於テ所謂共產黨
關係者ヲ除名ナル形式ヲ以テ立ツニ至リタルモノ、如シ。

◎除名問題發生ノ遠因

大阪ニ於ケル共產黨ガ總同盟組合内ニ黨中黨ヲ確立セシメタルハ
大正十二年二月頃ニシテ始メ山川均、高津正道、山本縣藏（關東
地方評議會執行委員長）等來阪シ大阪市西區靱共益社事務所ニ於
テ關西同盟會幹部三十名ト會見共產黨組織ノ件ニ付密議ヲ行ヒタ
ルニ端ヲ發シ其ノ後關西同盟會ニ於テモ一部ノ闘士ノ間ニ引續キ
之ガ可否ヲ論議セラレツ、アリタルガ當時同盟會員ノ一部ニヨリ